

【プログラム③：子どもの気持ちと親の関わり】

☆ねらい：子どもの行動や気持ちをいろいろな角度から考え、子どものよいところにも気づく親になろう。

《プログラムについて》

◇プログラムのねらいの説明

○子育てを行っていくうえで「〇〇な子どもに育ててほしい」という願いは、どの親ももっている。一方で、わが子のよさに気づいていなかったり、一面ばかりを見てしまったりするということも起こりがちである。本プログラムでは、一つの場面でもいろいろな見方があるということを実感するグループワークを行い、わが子を多面的に見て、そのよさに気づくようにする。

◇熊本県の保護者の意識

○「幼稚園・保育所アンケート」（熊本県就学前教育振興対策協議会実施）

回答者・・・年中、年長の園児を保護者

1番多い悩み・・・子どもが言うことを聞かない

☆想定時間：60分

☆人数：何人でも可（展開では4人組を作る）

☆準備物：ワークシート

☆主な活動

- ①場面の状況を聞き、一つの場面にもいろいろな見方があることを感じる。
- ②「いろいろさがし」をして、わが子との関わり方を振り返り、子どものいい点に改めて気づく。

【プログラム③：子どもの気持ちと親の関わり】

I 展開例

(形態 全→全体での活動 ペ→ペア グ→グループ 個→個人)

| | 形態 | 講座の流れ |
|-------------------|----|---|
| 導 入 10 分 | 全 | 1. 活動のねらいを知る。 |
| | グ | 2. アイスブレイクをする。 [例]「早口ことば」をする。 3. グループ作りをする。 (2. アイスブレイクでグループを作ったらそのままよい) |

| | | |
|-------------------|---|---|
| 展 開 40 分 | 個 | 4. 「こんなときどうする」を話し合う。(7分) ○状況を聞いて「何があったのか」「自分ならどう声をかけるか」を考える。 (子ども3人。泣いている子が1人。けんかをしている子が2人) ・考えたことは、箇条書きにメモをしてもいい。 |
| | グ | ○考えたことをお互いに紹介する。 ・なぜそう思ったか、考えたわけを質問する。 |
| 分 | グ | 5. 「いろいろさがし」をして、日頃の関わりを振り返る。(28分) ○子どもに望むことをメモに書き出す。(4分) お互いに出し合う。(10分) ○子どものよいところをメモに書き出す。(4分) お互いに出し合う。(10分) |
| | グ | 6. 5の活動をとおして気づいたことや感想等を出し合う。(5分) グループで感想を出し合う。 |

| | | |
|------------------------|---|---|
| ま と め 10 分 | 全 | 7. 振り返り、分かち合う。 ○いくつかの感想を全体に紹介する。 |
| | 全 | 8. 活動をまとめる。 一つの場面の状況だけで考えるのではなく、子どもの行動を理解しよう とすることが大事。子どものよいところを見るように心がけよう。 |
| 分 | 全 | ○平成21年版ドキドキ子育て(家庭教育手帳乳幼児編) P55～P60を読み 合わせる。(参考) ○「くまもと家庭教育10か条」を読み合う。 |

II 基本的説明・問いかけ例

〔 活動 〕

〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

〔 備考 〕

1. ねらいを知らせる

○みなさんは、家族や友だちと関わっていくとき、どんな事に気をつけていますか。今日の講座では、「子どもの気持ちと親の関わり」について、考えていきたいと思います。

キーワード「関わり方」は用紙に書き提示する。

2. アイスブレイク「早口ことば」

○まず、リラックスするために「早口ことば」をしたいと思います。まず、私が言いますのでみなさん続けて言ってください。
(いくつか早口ことばを言う)
○私の代わりに、誰かリーダーになって、得意な早口ことばを言ってください。みなさんは、その後続けて言いましょう。(手拍子をするなど、進行役は盛り上げる)

早口ことばの例を用紙に書き提示すると参加者も言いやすい。

3. グループ作り

○みなさん、ずいぶんリラックスできましたね。さて、今度は、しゃべらずに静かにお願いします。みなさん、今から誕生日順に並んでください。(講座開催の月を先頭にする) ○月を先頭にします。同じ月だったら、日にちの早い方が先に並んでください。しゃべらずに、指などを使って意思表示してくださいね。(しばらく待つ)
並べましたね。先頭から、1, 2, 3, 4の番号をかけてください。(参加者の人数によって、番号が変わる。1グループ4人になるように)今日は、同じ番号の人集まってください。今日は今集まったみなさんで活動したいと思います。

例示のグループ作りは時間がかかるのでほかのやりかたでもよい。人数が多い場合は、あらかじめ2つに分けた後、行ってもよい。

4. こんな時どうする？

○さて、これを見てください。(コップに半分入れた水を見せる) これを見て、どう思いますか。(しばらく待つ)(何人かの人に聞く)(半分しか水がない、半分もある、冷たそうなどが考えられる) 同じものを見て感じ方がいろいろ違いますね。このことをもう少し考えてみましょう。
○今から、ある場面の状況の一部を話します。聞いたことから、いろいろなことを想像してください。想像したことはワークシートにメモをとってもいいですよ。正しい答えがあるわけではありませんので、自由に考えてください。
(場面が想像できる言葉をいくつか言う。例、2人の子どもがけんかをしています。近くの子どもは泣いています。けんかをしている子どもと泣いている子どもの間におもちゃが落ちています。)
○どんなことを想像しましたか。今、自分が想像したことをグループで出し合ってください。(しばらく待つ) グループでどんなことが出ましたか。(発表できそうであれば紹介してもらおう) そうですね。ある言葉だけではいろいろな捉え方ができますね。1つの方向からだけでなく、いろいろな方向から考えることも必要ですね。

1グループは4人ぐらいがよいが参加者の人数によっては5人でもよい。

説明は、わかるように2～3回話す。

できるだけくさんのことを想像するように声をかける。

5. いろいろさがし

- 次は、自分の子どものことを考えてみましょう。まず、お子さんの嬉しそうな顔を想像してください。どんなことがあって嬉しいのだと思いますか。次に、悲しそうな顔を想像してください。これも同じです。どんなことがあって悲しいんだと思いますか。もう、お子さんのことで、頭の中がいっぱいになりましたね。
- これから、ワークに入ります。まず、子どもに望むこと、「～～してほしい」とか「～～なってほしい」とかいう望みをいろいろと書き出してください。メモは簡単でいいですよ。考える時間は4分です。いいですか。(用意、はじめ)(終わりです)
- 今、メモをしたことをグループで紹介し合ってください。(しばらく待つ)いろいろなことができましたね。
(いくつかを紹介してもよい)次は、お子さんのいいところをいろいろ書き出してください。自分が子どもと関わっていいと思うことです。これも先程と同じで、メモは簡単でいいですよ。考える時間は4分です。いいですか。(用意、はじめ)(終わりです)
- 今、メモをしたことをグループで紹介し合ってください。(しばらく待つ)いろいろなことができましたね。
(いくつかを紹介してもよい)

進行役は、明るい表情で話し、雰囲気や和らげる。嬉しい表情をする時の例えなどを話しながら進めてもよい。

望むことはあまりにも遠い日のことや現実離れした望みではないほうがよい。

人と比べて勝っているからよいという捉え方ではないことを知らせる。

6. 感想の紹介

- 今、子どもに望むことと、いいところを書き出し、紹介し合いました。2つのワークをしてどうでしたか。感じたことや感想などをグループで紹介し合ってください。

グループで紹介し合っているとき、どんなことが話題となっているかを把握する。

7. 振り返り

- 今、グループで出し合ったことでもいいし、自分の感じたことでもいいですが、みなさんに紹介してくださる人はいませんか？(進行役からの指名でもよい)

8. まとめ

- ◇家庭教育手帳
- ◇家庭教育10か条
- ・読み合わせ

- そうですね。
「子どもはほめて育てる」とよく言われますが、どうしても、「できて当たり前」と思ってしまうこともあるようです。子どもがだんだん大きくなっていくと、「これもできてほしい」「あれもできてほしい」と望むことも多くなりますね。子どもだけでなく、誰もがほめられると嬉しいですし、また頑張ろうという気持ちになりますね。
- そして、子どものいい点を見つけるには、1つの方向からだけでなく、いろいろな見方があるということも心に留めておきたいですね。

進行役が、子育て経験者の場合は、自分の体験談を話してもよい。
1つの方向からだけみて子どもを叱ったら、実は違っていたこと等の体験談は身近でよい。

Ⅲ 準備物

| 準備物 | 使用段階 | 留意点等 |
|--------------|------|--|
| ○ワークシート(人数分) | 展開 | ○メモ欄には無理に書かなくてもよいことを伝える。 |
| ○場面の状況説明文 | 展開 | ○ここでは、次の場面を設定した。 (子どもが3人いる。その中の1人が泣いている。おもちゃが2人の近くに落ちている。) <ul style="list-style-type: none"> ・他にも、子どもの生活から考えられる状況であればどんな場面でもよい。 |

Ⅳ 【家庭教育手帳、くまもと家庭教育10か条】関連ページ

| | | |
|----------------------------|-----|--|
| ○平成21年版ドキドキ子育て(家庭教育手帳乳幼児編) | まとめ | ○「平成21年版P55～P64」が関連がある。 読み合わせをするなら、関連ページを配付した がよい。 |
| ○「くまもと家庭教育10か条」 | まとめ | ○特に関連した条はない。 本講座が初めての場合は、全部を紹介するのが 望ましい。 |

Ⅴ その他

Q：本講座の成功のポイントは？

A：本講座では、進行役からの状況を聞いて、自由に場面を想像したり、子どものいいところや子どもに望むことなどを出し合います。発表者の意見は肯定的に聞くことが講座成功のポイントです。

聞いている人が、「えっ!」というような表情をすると、自分の考えたことを言えなくなってしまいます。進行役はこのことを参加者にしっかり伝えましょう。子どもの話を聞けるようになるためには、大人同士でお互いに話をよく聞くことを大切にしたいですね。

ワークシート

◇メモ1（必要などきに使ってください。）

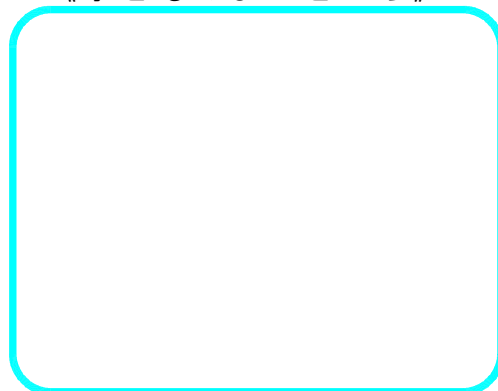


☆「いろいろさがし」をしよう！

《子どもに望むこと》



《子どものよいところ》



◇今日の講座をとおして、気づいたことや感じたことを書きましょう。

